

第5章 基本施策・施策の展開方向

1 基本理念について

第2次日立市水産振興計画を策定するにあたり、前計画の成果検証や本市水産業の現状を把握するため、漁業者や水産加工業者並びに消費者や飲食店等に対し、アンケートやヒアリング調査を実施した。

その結果を踏まえ、長い歴史がある本市水産業の伝統を守り、持続可能な水産業の実現を図るため、基本理念を以下のように定める。

『豊かな海のめぐみを、未来につなぐ「ひたちの水産業」』

2 計画の推進体制とその基本的な考え方

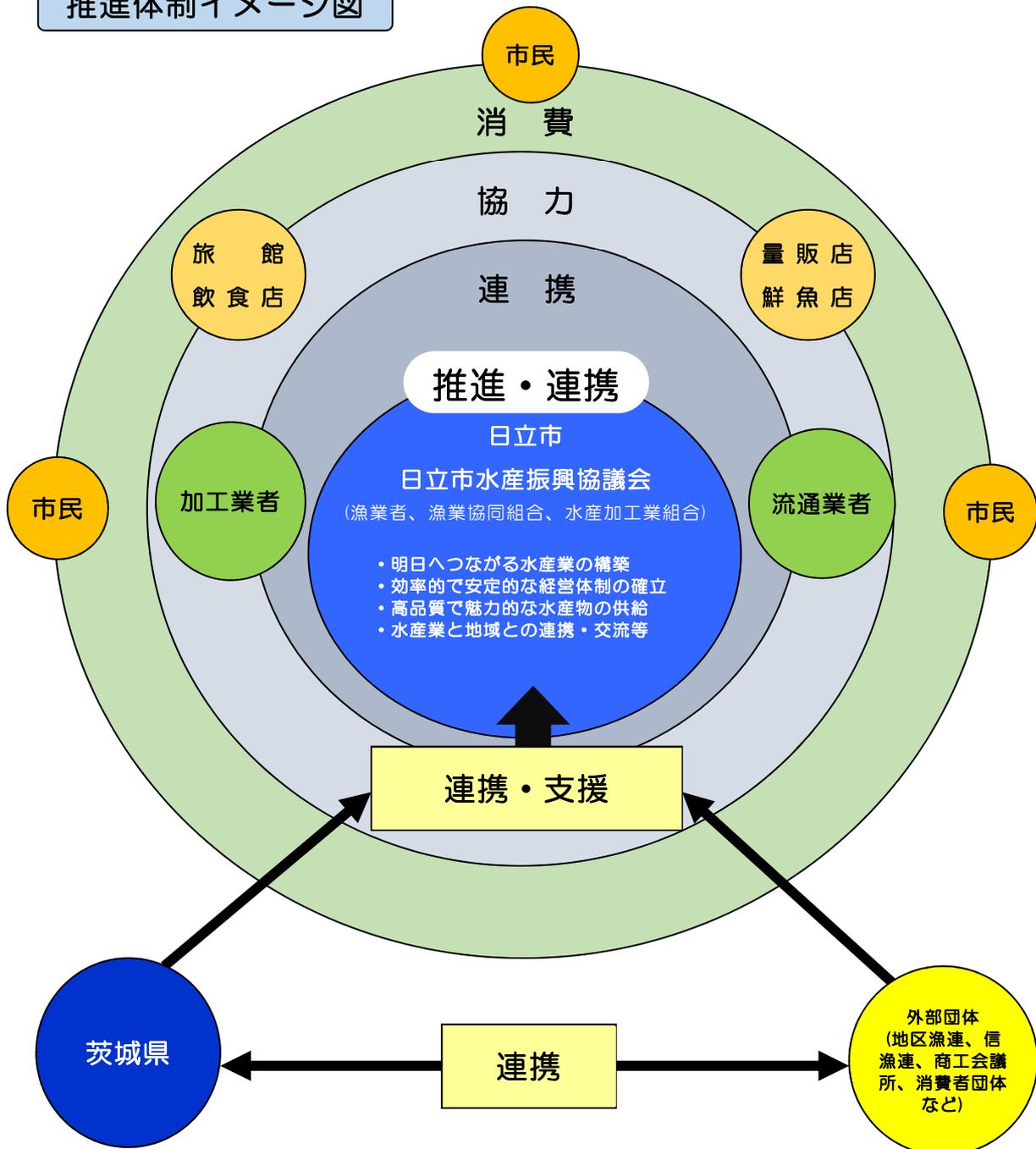
本市水産業に携わる関係者の意見・要望等を受け、関係団体と連携を図りながら、国及び県に対し必要な働きかけを行う。

また、本計画は、行政機関をはじめ各関係機関が協働で進めていくための計画であり、他産業や地域団体等とも連携や協力を図り推進するものである。

3 第2次日立市水産振興計画推進体制

前計画に引き続き、現計画においては、日立市及び日立市水産振興協議会を中心として、各関係者による適切な役割分担と国・県・外部団体との連携・協力により、計画の施策を推進し、実現を目指す。

推進体制イメージ図



4 数値目標一覧

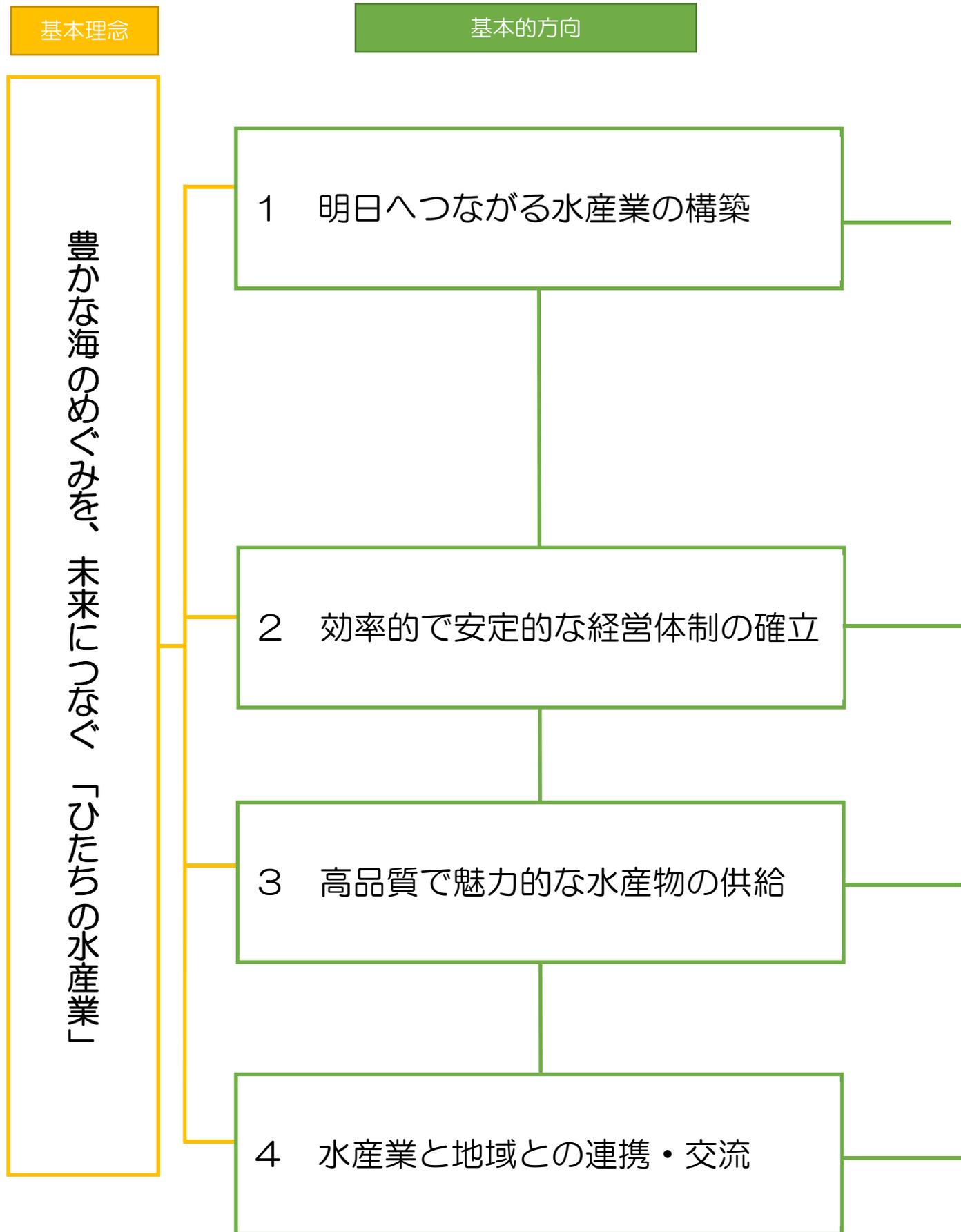
2023年における数値目標は、次のとおりとする。

項目		単位	現況 (2017)	目標値 (2023)
1	水揚高（属地）※1 ※2	千円	570,701	650,000
2	水揚量（属地）	トン	1,425	1,625
3	アワビの稚貝放流個数	個	132,400	130,000
4	ヒラメ種苗放流尾数	尾	117,000	120,000
5	水産資源の維持・管理に取り組む組織の数	団体	4	4
6	海浜等清掃活動に参加する市民の数	人	3,194	3,200
7	放流事業に参加する学校等の数（十王川）	団体	7	7
8	サケ資源有効利用調査参加者数（久慈川）	人	746	750
9	新規就業者数（累計）※2	人	12	13
10	漁業協同組合数（沿海）※1	組合	3	1
11	衛生管理マニュアルを導入する産地市場数	市場	0	1
12	衛生管理型荷捌き所の数	箇所	1	1
13	船上で最新の鮮度管理技術を導入する経営体数（累計）	経営体	12	12
14	水産加工優良産品推奨品認定数（累計）	点	5	5
15	料理講習会の実施回数	回/年	3	4
16	地魚（シラス、タコ、アワビなど）を活用した新たな商品累計数	件	10	15
17	市が後援するイベント数	回	1	3
18	水産教室を開催する学校の数	校	2	5
19	漁業体験人数	人	32	60

※1・・・「日立市総合計画」に掲げられた項目

※2・・・「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた項目

5 第2次日立市水産振興計画施策体系図



基本施策

具体的施策

(1) 漁業生産力の強化

① 漁業の生産性・収益性の向上

(2) 水産資源の維持と環境保全

- ① 水産資源の維持・管理
- ② 美しい漁村・漁港づくりの推進
- ③ 内水面における河川流域の環境保全と活性化

(3) 水産業の担い手の確保と育成

- ① 新規就業者の確保と受入体制の整備
- ② 水産業の後継者確保と育成
- ③ 水産業の魅力づくり

(4) 働きやすい環境づくり

- ① 就労環境の整備
- ② 安全管理及び救援管理体制の強化

(5) ひたちらしい水産業

- ① 伝統ある定置網漁業の継承と活用
- ② 市の魚イメージキャラクターの利用促進
- ③ 道の駅日立おさかなセンターの活用

(1) 経営の基盤強化と安定化

- ① 漁業経営の安定化
- ② 漁業経営の多角化
- ③ 漁業の新たな方向性

(2) 水産業協同組合の組織強化

① 水産業協同組合の組織強化

(1) 高度な衛生管理

- ① 衛生管理体制の強化
- ② 漁業基盤の整備

(2) 水産物の鮮度管理

① 鮮度管理技術や施設の導入促進

(3) 水産物の流通・加工基盤の強化

- ① 水産物の流通と機能強化
- ② 水産物及び加工品の販売促進

(4) 消費者ニーズに対応した水産物の供給

- ① 消費者ニーズに対応した魚食普及の促進
- ② 高品質な水産物と食の魅力発信

(1) 水産業と異業種との連携・交流

- ① 新商品の創出及び販路の開拓と拡大
- ② 国等の支援制度の活用を推進

(2) 漁業地域のにぎわい創出

- ① 水産業と連携・交流した取組の推進
- ② 地元の水産業を知る機会の創出
- ③ 遊漁船業等によるにぎわい創出